



はる にくれ
春 榆



令和6年8月 学校だより 第5号
富山市立榆原中学校
〒939-2184 富山市榆原405
TEL: 485-2014 FAX: 485-2250
学校代表メール:
nireharachu@city.toyama.lg.jp

「自分の『よさ』を生かし、2学期を充実させよう」

伊東 和也

33日間の夏休みが終わりました。今年の夏も猛暑で、「とにかく暑かった」という印象を強くもつのは、私だけではないでしょう。

夏休みに入る前に、皆さんに、「長い休みだからこそ、いろいろなことに粘り強く取り組んだり挑戦したりして、自分の『よさ』を探してみてください。『よさ』というと、つい、他の誰かと比べてしまいがちです。自分なんか何の取り柄もないなんて思いがちですが、他の人と比べて優れている、ということではなくて、好き、とか、楽しい、とか、飽きない、とか、嫌じゃない、とか、そんなところに自分の『よさ』を見つけるヒントがあるような気がします。」と呼びかけました。夏休みを探した自分の「よさ」を是非先生方にも聞かせてください。

夏休み中、オリンピック、高校野球等、スポーツを観戦する場面が多くありました。私は特に印象に残っているのは、卓球女子の早田ひな選手です。早田選手は、前回のオリンピックでは、同じ年齢の選手が出場する中、リザーブとしてチームを支え、今回はけがを抱える中、個人戦で銅メダル、団体戦で銀メダルを獲得しました。私は、それまでの努力、メンタルの強さにとっても感動しました。

ところで、私はこの夏休みに東京の浅草で落語を見ました。実際に見ると、身振りや手振り、間の取り方等、まさにプロの技の奥深さを体感しました。私は落語について詳しく調べてみました。

江戸落語にあって上方落語にはないのが「真打制度」で、落語家の階級であり序列を決めるもので、前座→二つ目→真打と昇進して行きます。落語家は入門すると、師匠の家に通ったり住み込んだりして、着物のたたみ方や師匠のお供で楽屋へのカバン持ちをするなど、落語家の作法やマナーを身に付ける、見習い期間を過ごします。落語家の社会になじませながら、弟子として育てるに値するかどうかを見極められます。その後、前座として認められますが、在籍年数は約3、4年です。この年数は後輩の入門数によります。早朝に起きる、もしくは早朝に師匠の家に行き、掃除、洗濯、炊事をこなした後、昼席の寄席へ出勤します。夜席まで非番の時は、師匠宅で電話番や使い走りなどの雑用をし、その間に師匠から噺の稽古をしてもらえ、ということもあります。また、師匠の話を聞いたり、しかられたり、も修行のうちです。次に二つ目は、自前の紋付きの着物で高座に上がり、羽織の着用が許されます。出囃子で自分の曲を弾いてもらえ、自分の手拭いを作ることが出来、メクリに名前が載ります。二つ目になって長い噺ができます。師匠宅で師匠の前で演じ、許可が出て初めて高座にかけることができるようになります。ところが、二つ目の在留期間は、短くて数年、普通は約13年、時には15年以上になります。業界の中で人数は少なくない上に、出番枠に限りがあり、前座より高座に上がるチャンスは減ってしまいます。そして定給ではなく、報酬が客の入りの良し悪しを受ける“ワリ”、いわゆる歩合給になります。寄席の総売り上げを席亭と出演者がわけ、出演者側の額が全員に割り振られるので“ワリ”。当然二つ目のレートは低く、自立自活の日々が始まります。10年強で真打に昇進します。戦後、二つ目の在籍最短記録は古今亭志ん朝氏の5年だそうです。普通は入門から約15年で、大学卒業後の入門だと、40歳近くの昇進も珍しくないそうです。真打になって初めて師匠と呼ばれ、定席のトリをとる資格、弟子を取る資格が得られ、一度真打になると返上はないのですが、そこから鳴かず飛ばずという真打も少なくないそうです。一般社団法人落語協会には、真打ち215名、二つ目64名、前座25名在籍しています。そう考えると、例えば日曜日の夕方に放送されている「笑点」メンバーの落語家は、神のような存在であるということがわかります。「笑点」メンバーの方は自分の「よさ」を前面に出し、楽しそうに大喜利等に取り組んでいるように見えます。しかし、落語で生計を立てている方は、最初は「好き」「楽しい」から始まったかもしれませんが、真打になるため多くの時間と労力をかけて努力を惜しまず続け、自分の夢を実現しています。

さて、いよいよ2学期が始まります。2学期が一番長く、校外学習、学習発表会、新人大会等、多くの行事があります。いろいろな場面で挑戦し、達成感を得られるチャンスがたくさんある学期と言えるでしょう。積極的に挑戦したり、粘り強く継続して取り組んだりしていくことを期待します。そして、新たな自分の「よさ」を見つけたら自分の「よさ」を生かしたりしながら、2学期の学校生活を充実させてください。



R6前期学校評価アンケート結果より

左の表は、各項目を1～4ポイントで集計し、その平均値を示したものです。4ポイントを100点満点と換算し、90点以上を濃い青で、75点未満を黄色で表しています。

【生徒アンケート】

オレンジ色が付いている項目は昨年度と変えた項目です。

設問	1年生徒	2年生徒	3年生徒	平均
1 学校生活が楽しい	3.0	3.3	2.5	2.9
2 生命を尊重し、よさを認め合う	3.3	3.4	3.2	3.3
3 学ぶことが楽しい	2.8	3.1	2.6	2.8
4 自己の向上、積極性	2.8	3.5	3.0	3.1
5 地域への貢献	3.4	3.3	3.0	3.2
6 合い言葉を意識	3.1	3.5	2.8	3.1
7 心と体の健康	3.0	3.1	3.1	3.1
8 家庭学習	2.5	2.1	2.5	2.4
9 読書活動	1.9	2.9	2.5	2.4
10 授業中の学習課題と内容理解	3.3	3.3	3.0	3.2
11 分からないことの解決	2.9	3.4	3.2	3.2
12 授業が分かりやすい	3.1	3.2	3.0	3.1
13 いじめへの認識	3.8	3.8	3.9	3.8
14 他者への言動	3.3	3.7	3.4	3.5
15 思いやりある行動	3.4	3.5	3.1	3.3
16 謝罪や改善	3.3	3.4	3.1	3.3
17 悩みを相談できる友人	3.5	3.0	3.3	3.3
18 悩みを相談できる教員	2.9	3.3	3.1	3.1
19 家族との会話	3.4	3.7	3.1	3.4
20 学校のお知らせを家族に渡す	3.3	3.1	3.1	3.2
平均	3.1	3.3	3.0	3.1

* 平均3.5Pを超えた項目は「13いじめへの認識」「14他者への言動」です。昨年同様、いじめは許されない行為であるという認識は定着しており、人が嫌がる言動に気を付けるなど、人権意識を大切に行動しようとしています。

* 「1学校生活が楽しい」が平均2.9Pである点が課題です。生徒自治の力を生かした生徒会活動や小中連携の活動、学習発表会等の学校行事を充実させ、生徒が自分の「よさ」を生かせる活動や場面を多く設けていきます。

* 「3学ぶことが楽しい」「8家庭学習」「9読書活動」について、生徒の主体的な学びを促すことができるよう、研究会等を実施し、授業改善を進めています。「できる」「分かるようになりたい」「もっと知りたい」という生徒の課題意識を高め、「もっと考えたい」と振り返り、家庭学習へとつなげる授業づくりを行っていきます。

【保護者アンケート】

設問	1年保護者	2年保護者	3年保護者	平均
1 学校生活が楽しい	3.0	2.8	2.8	2.9
2 生命を尊重し、よさを認め合う	3.5	3.3	3.4	3.4
3 学ぶことが楽しい	3.2	2.4	2.6	2.7
4 自己の向上、積極性	3.3	2.6	2.9	2.9
5 地域への貢献	3.5	2.9	2.9	3.1
6 合い言葉を意識	3.0	2.7	2.4	2.7
7 心と体の健康	3.2	2.7	2.9	2.9
8 家庭学習	2.5	1.7	2.1	2.1
9 読書活動	2.0	1.9	2.1	2.0
10 授業中の学習課題と内容理解	2.3	2.6	2.6	2.5
11 分からないことの解決	2.8	2.2	2.6	2.5
12 授業が分かりやすい	2.5	2.0	2.1	2.2
13 いじめへの認識	3.2	3.6	3.4	3.4
14 他者への言動	3.3	3.0	3.4	3.2
15 思いやりある行動	3.0	2.9	3.1	3.0
16 謝罪や改善	3.2	2.9	2.7	2.9
17 悩みを相談できる友人	3.0	2.6	3.0	2.9
18 悩みを相談できる教員	2.7	2.2	2.3	2.4
19 家族との会話	3.7	2.7	3.1	3.2
20 学校のお知らせを家族に渡す	3.8	2.9	3.1	3.3
平均	3.0	2.6	2.8	2.8

* 3.0P以上の項目は「2、5、13、14、15、19、20」です。生徒と同様、「いじめ」への認識は高く、「他者への言動」や「生命を尊重し、よさを認め合う」など、人権尊重や規範意識の高さがうかがえます。

* 「1学校が楽しい」(2.9P)については、学校として重く受け止めています。生徒が「この学校で学べてよかった」と思える学校を目指し、生徒の「自己有用感」を高める活動に取り組みます。生徒会活動を中心に生徒自治を高め、小中合同の行事や、地域との連携行事で生徒の「自己決定」の場を多く設けます。

* 「3学ぶことが楽しい」「8～12学習に関する項目」については、「確かな学力」の定着に関わる項目です。生徒の主体的な学びを促すことができる授業改善に努め、学力向上に取り組んでいきます。また、家庭と連携を図り、家庭学習の習慣化を図ります。

* 「17・18悩みを相談できる」について、定期的な生活アンケートや教育相談や日常の様子を観察等を通じた相談できる機会や場の提供、生徒と先生の信頼できる人間関係づくりを積極的に実践していきます。また、スクールカウンセラーによる全校生徒への面談も計画的に進めていきます。

保護者の皆様、学校評価アンケートへのご協力をありがとうございました。自由記述では、学力向上についてのご意見や、学校行事について、もっと生徒の視点に立った運営等を行うべきだというご指摘をいただきました。改善すべき点や、アンケートの数値の低かった項目等について、教職員で話し合い、研修も実施しました。更により教育活動となるよう、取り組んでまいります。今後ともご支援のほど、よろしく申し上げます。

行事予定

3月

27日(火) 始業式(給食・部活動なし)
県民一斉シェイクアウト富山

28日(水) 給食開始
29日(木) 身体測定

9月

5日(木) 小嶋防災教室「みんなの命を守る」
10日(火) 1・2年校外学習
13日(金) 生徒会役員選挙
14日(土) 市新人大会(陸上競技部)
16日(月・祝) 敬老の日

18日(水) 学校訪問研修会

20日(金) 生徒会役員任命式

21日(土) 統一学校公開日・学習参観(弁当)

23日(月) 振替休日 24日(火) 振替休業日

10月

2日(水)～3日(木) 中間考査

11日(金)～13日(日) 市新人大会

14日(月・祝) スポーツの日

16日(水) 県中教研東部地区大会(道徳)

17日(木)～18日(金) PTAあいさつ運動

24日(木) 文化芸術による巡回公演

26日(土) 市中文祭(オーバードホール)